



リサイクルQ&A

清掃センター（埋め立て処分場）への 持込方法が一部変更になります！

大崎・有明・志布志町では7月1日より生ごみは有機物扱いとなり持込みができなくなります。

Q：一般ごみと粗大ごみのルールが変わるの？

A：7月1日から一般ごみの中に生ごみを入れて清掃センターへ持込むことができなくなります。

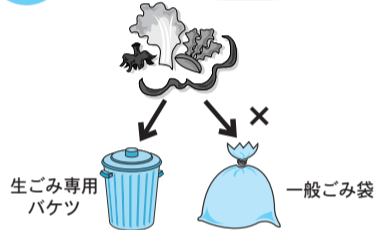
一般ごみってどんなもの？

生ごみを除いた物で、紙オムツやティッシュペーパー・傘・陶器製の茶碗・下着・靴などのものです！（分別の手引き 25 ページを参照）

粗大ごみってどんなもの？

一般ごみの指定袋に入らない大きさの物でタンスやイス・机などのものです！
毛布など一般ごみの指定袋に入る大きさのものは一般ごみとなりますので注意してください！（分別の手引き 26 ページを参照）

Q：生ごみはどうすればいいの？



A：6月29日から町内全域で生ごみ分別収集が始まります。生ごみの出ない収集場では自家処理をしています。できるだけ自家処理に心がけましょう。

《問い合わせ先》大崎町役場 福祉保健課 環境係 TEL 76 - 1111 内線 145



鹿児島県歯科医師会より

『日本人の歯の平均寿命は 55～60 歳』

デンでは15・7本で、日本は欧米諸国に比べて歯の寿命がとも短いことがわかります。今後ますます高齢化が進むにつれて、命と歯の寿命のギャップが大きな問題になってくると考えられます。

人生80年時代を迎えて健康で快適な生活を営むためには何といたっても充実した食生活が欠かせません。栄養の面から考えても健康を維持していくためには、歯は最低20本程度必要です。自分の歯が20本残っていないと、ほとんどの食べ物をおいしく食べることができなくなります。

平成14年度の鹿児島県成人

「日本人の平均寿命は世界一、でも歯の寿命は55～60歳程度といわれていますか？」

80歳で自分の歯は4、5本しか残っていないというのが現状です。ちなみにアメリカでは15・1本、スウェー



歯科疾患実態調査では、歯が20本あるのは55歳まででした。現在80歳で20本の自分の歯を残そうという『8020運動』が展開されています。みなさんも自分の歯で豊かな食生活を送りましょう。

健康に関する相談は、保健センターへお気軽にどうぞ!! TEL 76 - 1111 (内線 146・147)